

バイオマスタウン構想分析DB

[【リンク】飯田市バイオマスタウン構想](#)

公表回	公表年月日	構想見直し		都道府県名	市町村名	人口	面積
		公表回	公表年月日			(人)	(km ²)
38	2009.11.30			長野県	飯田市	105,450	658.76
構想の要約		飯田市は、低炭素で活力あふれる地域社会を目指す環境モデル都市として、林地残材や生ごみ、家畜排せつ物など地域に賦存するバイオマス資源を可能な限り最大限利用し、循環型地域社会の形成を図る。					
構想に盛り込まれた事業		【未利用バイオマス】 ペレット利用による熱供給事業 薪の地域内循環利用 竹やぶの処理・活用 【廃棄物系バイオマス】 廃棄物の排出抑制と減量化 事業系食品廃棄物の有効利用 生ごみの堆肥化 BDF利用 下水汚泥処理消化ガスの有効利用					
バイオマス活用目標		添付別紙参照					
バイオマスタウン構想概要図		添付別紙参照					

利用するバイオマス				
廃棄物系バイオマス		未利用バイオマス		資源作物
家畜排せつ物	○	稲わら・もみがらなど	○	資源作物
農業系廃棄物(廃菌床など)	○	野菜等非食部		
食品廃棄物	○	間伐材・林地残材	○	
廃食用油	○	果樹剪定枝		
水産加工残さ		竹材	○	
製材工場等残材	○	その他()		
建設発生木材	○			
街路樹・公園・家庭剪定枝、刈草				
古紙・廃棄紙				
下水汚泥など	○			
その他()				

利用するバイオマス変換技術			
マテリアル利用のための変換技術		エネルギー利用のための変換技術	
堆肥化(土壌改良材・肥料を含む)	○	バイオガス化(メタン発酵)	○
飼料化	○	直接燃焼	
バイオマスプラスチック製造		ガス化	
その他(敷料、セメント原料)		炭化	
		固形燃料化(チップ・ペレット・RDFなど)	○
		バイオディーゼル燃料化	○
		バイオエタノール化	
		その他()	

バイオマスタウン実現に向けた取組の進捗状況	
記入年月日	記事

実現した事業	添付別紙参照
--------	--------

バイオマス利活用目標
(バイオマスタウン構想書からコピー)

バイオマスの種類	賦存量 [t/年]		変換・処理方法	仕向量 [t/年]		利用・販売	利用率 炭素換算
	湿重量	炭素含有量		湿重量	炭素含有量		
(廃棄物系バイオマス)	102,700	8,142		95,345	7,676		94%
食品系	15,647	830		8383	403		49%
家庭系生ごみ	4,000	177	堆肥化	300	131	市内販売	7%
事業系生ごみ	2,500	111	堆肥化	600	271	市外販売	24%
動植物性残渣	3,542	157	飼料化, 堆肥化	3,400	150	販売、自家利用	96%
食品汚泥	5,355	206	堆肥化	4,000	154	販売	75%
廃食用油	250.4	179	ハイターイセム化	83	59	販売	33%
畜産系	70,577	4,211		70577	4,211		100%
畜産廃棄物	70,577	4,211	堆肥	70,577	4,211	市内販売、自家利用	100%
下水汚泥等	13,107	2,752		13016	2,713		99%
下水汚泥	2,883	277	セメント原料化, 路盤材	2,883	277	販売	100%
集落下水道・浄化槽製材廃材	5,885	565	スラブ化	5885	565	販売	100%
建設廃材	2,764	1,217	チップ, 畜産敷材, 堆肥化等	2,761	1,216	自家利用、販売	100%
建設廃材	1,575	693	チップ, 燃料化	1,487	655	販売	95%
農業系	3,369	349		3369	349		100%
きのこ廃菌床	3,369	349	堆肥化	3,369	349	販売	100%
(未利用バイオマス)	29,341	10,025		10,990	3,255		32%
農業系	6,754	1,934		6754	1,934		100%
稲わら	5,553	1,590	飼料化, 敷材, 堆肥化等	5,553	1,590	自家利用	100%
もみがら	1,201	344	堆肥化	1,201	344	自家利用	100%
木質系	22,587	8,091		4236	1,321		16%
林地残材	10,227	2,649	建築材料, ペレット化	3,000	777	販売	29%
竹	12,360	5,442	—	1,236	544	—	10%

※食品系バイオマスのうち、食品産業から排出される汚泥

バイオスタウン構想概要図

(バイオスタウン構想書からコピー)

概要図なし

飯田市の市政計画とバイオスタウン構想の関係(案)

第5次飯田市基本構想基本計画

飯田市環境文化都市宣言

21' いいだ環境プラン(環境基本計画)

- 循環型まちづくり 廃棄物の減量と適正処理・地球温暖化問題への対応 ※飯田市一般廃棄物処理計画
- 環境と経済が好循環するまちづくり 環境にやさしい事業活動の推進
- 意識づくり 環境学習の推進による意識啓発

環境モデル都市行動計画(温暖化防止計画)

- 森のエネルギーの最大限の活用
木質バイオマスエネルギーの積極的活用
- 廃棄物系バイオマスエネルギーの活用
廃食用油・下水汚泥処理消化ガス

関連計画

- 飯田市中心間地域振興計画
- 地域経済活性化プログラム
- 飯田市森林整備計画
- 飯田市農業振興地域計画
- 飯田市一般廃棄物処理計画

飯田市バイオスタウン構想

上位計画で位置づけられた、地球環境保全、地域や産業経済の活性化等のために、地域に存在するバイオマス資源を活用し、持続可能な循環型地域社会形成に貢献するための構想。
構想策定により、国からの財政支援を受けつつ、民間事業者とも連携しながらバイオマス資源を活用する構想の実現化が可能。

○構想の柱その1
実践取り組みの更なる推進

○構想の柱その2
バイオマス資源の新たな
利活用の検討

○構想の柱その3
循環型地域づくりとの組み合わせ

1. 未利用バイオマス資源の利活用推進

2. 廃棄物系バイオマス資源の利活用の推進

3. 多様な主体によるバイオマス利用の推進

4. 地域づくり・人づくり政策への波及

実現した事業(その1)

事業の名称	
事業者名	
事業所名	
住所(施設の所在地)	
利用するバイオマス	
利用する変換技術	

事業の概要	添付別紙(パンフレット等)参照
	(事業形態、事業構成メンバー、出資比率、事業開始時期、施設の概要、プラントメーカー、建設業者、イニシャルコスト、ランニングコスト、原料単価、製品単価、経営状況、事業運営の課題、成功・失敗要因など記入)